

あいせい

第 395 号
 発行日 令和 6 年 4 月 1 日
 発行人 愛正会企画会議
 編集人 愛正会企画会議
 発行所 ㈱茨城福祉サービス
 Tel 0293 (22) 5848
 Fax 0293 (23) 7276

医療法人・社会福祉法人 愛正会広報紙



▲令和六年度 医療法人・社会福祉法人愛正会 入社式

新入職員の皆さん、入社おめでとうございます。今年には元旦に能登半島地震が起こり、二〇二一年の東日本大震災を思い起こされた方も多かったと思います。また二〇二〇年初頭、新型コロナウイルスが世界を襲い、感染者と非感染者を峻別する恐怖感情が社会生活を崩壊しそうになったのも記憶に新しいところです。自然災害やパンデミックによる物理的・心理的な分断特にコミュニケーションの停止が、社会に大きなマイナスの影響を与えました。

現代社会は、今やコミュニケーションツールの代表的な存在となったスマートフォンを始め、IT機器による「生成AI」の時代です。生成AIの特徴は知識の広さと深さ、人間でいえば論理的思考・言語や数学的能力等の知能指数IQが非常に高い、ということになります。ただ人間の能力には、IQでは計れない人の気持ちを感じとる重要な能力があります。心の知能指数EQと呼ばれるこの能力は、柔軟性や共感する力等が特徴で、AIとはまた差がありそうです。

そして現代社会は超高齢化社会でもあります。認知症人口は二〇二五年には約七百万人、六十五歳以上の人口の五分の一と推計されています。認知機能の低下は、人間社会で最も重要なコミュニケーションを困難にします。

さて、そこで我々の出番です。病気や認知症等々、様々な自分の望まぬ原因でコミュニケーションすることが難しくなってしまう患者さん、利用者さんが、何を望んでいるのか。その心の状況を見て、共感して、求められるサービスを提供する。「眼は心の窓」です。相手の眼を見ながらコミュニケーションを取ることを心掛けて下さい。「心の知能指数EQ」を鍛えて育てて仕事をして頂きたい。期待しています。一緒に頑張ります。

医療法人 愛正会
 理事長 横倉稔明